

振り付けで地域PR

女性の伝承盛り込み制作

南部

「福が成る成る谷川音頭」



地域の特色を盛り込んだ独自の音頭に振りをつける女性陣

母親山の響がとけ、福成田んぼに人が集まる。地域を広くアピールしようとする南部町谷川地区の女性たちが地元の見どころを盛り込んだ音頭「福が成る成る谷川音頭」を制作した。9月に催す地元神社での初お披露目に向け連日、振り付け作業が続いている。

はないものの、「谷川地区には広く知られていないが、おもしろい歴史や文化があり、みんなに関心を持ってもらいたい」と計画した。歌詞は、古事記の中で火の神を産んだ後に命を落としたりイザナキが掬われたという言い伝えがある母親山をテーマに、毎年春に開催している菜の花祭りなど季節ごとに4番まである。曲は地域社会に貢献する女性リーダーの育成事業「とっとりグラム倶楽部」とかかわりのある明治大学に依頼した。

今は地区の女性たちが近くの公民館で出来上がった音頭に振りをつけている最中。歌詞中に神社にお参りするシーンがあることから「手をたたいてはどっいながら曲に合わせ踊るか」や、元気の良さをアピールするため「手はもっと高く上げよう」など趣意を出し合っている。女性陣の積極的な活動に野口卓夫区長は「とても頼もしい。女性ならではの感性で作った音頭をしっかりと発信していきたい」と話している。

(高谷正範)